



圧力抑制室

**圧力抑制室とは**

原子炉格納容器の下部にあり、原子炉格納容器内圧力が蒸気等で上昇した場合にその蒸気を圧力抑制室内に導いて冷却することで原子炉格納容器内の圧力を低下させる設備。

また、原子炉冷却材喪失事故時の非常用炉心冷却系の水源として水を貯蔵する役割もある。

形状	円環状	
大きさ	円環部中心直径	約 3.8 m
	円環部断面直径	約 9.4 m
容積 (通常運転時)	空間部	約 4,700 m <sup>3</sup>
	プール水量	約 2,800 m <sup>3</sup>

圧力抑制室概要図